

4.23 市民自治を取り戻そう！学習講演会

渡具知名護市長を提訴！

深まる消防庁舎跡地売却疑惑 何が問題か

名護市東江^{あがりえ}の海岸沿いにあった消防庁舎の移転に伴い、跡地が売却されることになり 2018 年に公募が行われ、大和ハウス工業・アベストコーポレーション共同企業体（以下、大和ハウス JV）に売却、ホテル建設が決定されました。

その後なぜか、議会にはかられることなく売却先が変更され、その売却先の親企業の役員には渡具知市長の親族がいることも判明しました。また議会に出された事業提案内容と市に出されたものが違うこと、他の応募企業より売却価格が 1 億 3 千万円も安かったことなどの問題が発覚。

これに対し地方自治法、市条例違反の手続きとして住民監査請求をし、跡地の市への返還を求めましたが、実質わずか 2 日間の審査で却下されました。

これを受け、渡具知市長に真摯な説明、真実の解明を求めるとともに、跡地の名護市への返還を求めて提訴しました。

6 月 2 日の第一回口頭弁論に向け、何が問題なのか、学習会を企画しました。

（ウラ面の経緯もお読みください）

日時： 4月23日（土）14：30～16：30

ズーム配信あります。申し込まれた方にのちほどアドレスをメールします

場所： 名護市産業支援センター・会議室（2F）

名護市大中（南）交差点

参加費： 資料代500円

講師： 金高 望（名護住民訴訟弁護団）

島袋 元（名護住民訴訟弁護団）

赤嶺 朝子（名護住民訴訟弁護団）ほか弁護団オンライン参加

発言： 稲嶺 進（元名護市長、島ぐるみ会議名護代表）

北上田 毅（沖縄平和市民連絡会）ほか

主催： 名護住民訴訟の会

共同代表 宮城 聡、渡具知 智佳子

連絡 ohata-yu@r5.dion.ne.jp（大畑）

電話 090-4129-5941（長谷川）



駐車場は狭いので、お早めにおいでください。近隣駐車場もご案内します。



稲嶺進 元名護市長
（島ぐるみ会議
名護代表）

「疑惑解明の裁判に
注目しています」



北上田毅氏
（沖縄平和市民連絡会）

【名護市消防庁舎跡地問題の経緯】

2019

- 4月 公募の結果、名護市は大和ハウス・アベスト JV に決定（新設法人設立し事業運営）
- 7月 臨時議会で同決定の大和ハウス JV への売却議決（賛成 24、反対 1）
- 9月 金武町の（有）サーバントを名護市仲尾の㈱丸政工務店従業員宅へ移転登記し「新設法人」とするとの申出。市は同意。

2021

- 3月 定例議会でサーバントの親会社・丸政工務店役員に渡具知市長の親族がいることが判明、疑惑解明のための百条委員会設置
- 4月 第1回百条委員会（2022.1 まで参考人招致など 15 回開催、非公開）
- 12月 定例議会で、JV へ他応募会社より約 1 億 3000 万円安く売却していたことが判明

2022

- 1.4 公文書公開請求で、議会提出の事業スキーム説明書と違い、市への説明では新設法人ではなくホクセイが売却先だったことが判明、書き換えが発覚。
- 1.14 名護市監査委員会へ住民監査請求、跡地の買い戻しを求める
- 1.19 請求却下
（1.23 名護市長選挙、渡具知氏再選）
- 2.18 那覇地裁へ提訴・記者会見

議会に伏せられていたホクセイという会社と売却先となったサーバントは、共に辺野古新基地工事を受注する丸政工務店と社長以下役員構成はほぼ同一のペーパーカンパニー。しかも渡具知市長の実姉の夫が丸政工務店の役員として在籍しています。

渡具知市長は基地受け入れへの見返りの基地再編交付金を政府から受け取りながら、「国と県の係争の推移を見守る」と新基地建設への賛否を表明しない無責任な態度をとり続け、それに加え、今回の消防庁舎跡地疑惑です。地方自治の破壊、市政の私物化を許してはなりません。